

(限 内 部)

海軍公報(部内限)第二千九百七十一號

海軍大臣官房

昭和十三年七月二十七日(水)

○令 達

官房第三八七七號

當分ノ間未成艦船ニ供給スベキ兵器ノ保管受拂ノ爲必要アル場合ハ左記ニ依リ當該艦船ニ兵備品取扱主任ヲ置クコトヲ得

昭和十三年七月二十七日

海 軍 大 臣

記

一、兵備品取扱主任及之ガ任免等ハ左ノ區分ニ依ルモノトス

建造場所	兵備品取扱主任	任 免 者	通 報 先
海軍工廠	工事擔當職員	海軍工廠長	所管海軍軍需部
部外工場	艦 裝 員	艦 裝 員 長	兵備品會計官吏
	工事關係監督官	監 督 長	所管海軍軍需部
	艦 裝 員	(首席監督官)	兵備品會計官吏
	艦 裝 員 長	艦 裝 員 長	海軍艦政本部
			海軍航空本部

○通 牒

二、艦裝員又ハ乗員ヲ置キタルトキハ工事擔當職員又ハ工事關係監督官タル兵備品取扱主任ハ艦裝員タル兵備品取扱主任ニ又艦裝員タル兵備品取扱主任ハ乗員タル兵備品取扱主任ニ其ノ保管ニ係ル兵器ヲ順次引繼グモノトス

三、艦裝員タル兵備品取扱主任ハ兵器ノ受入ニ關シ當該工事擔當職員又ハ工事關係監督官ト密接ナル連絡ヲ保持スルモノトス

經物第二六七號

昭和十三年七月二十七日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

球軸受及コロ軸受ニ關スル件通知

首題物品ハ從來外國品併用ヲ許可シアラザルモ之ガ入手ハ相當困難ナル實情ニ有之且大藏省ハSKP(日本エス、

海軍公報(部内限)第二千九百七十一號

昭和十三年七月二十七日

八五七

0548

ケイ、エフ興業株式會社、東京市麴町區有樂町一丁目
一〇)ニ對シ毎月一定量ノ輸入ヲ許可シ居ル實情ニ付
當分ノ間該品ノ購入差支無之キコトニ決裁相成候

○辭令

海軍省事務囑託ヲ解ク(海軍省) 村山 有

海軍航空本部 海軍技師 大羽 佐一
東京監理官ヲ命ス(海軍省) 海軍整備特務中尉 加藤 三郎

補給部附ヲ命ス(海軍省) 海軍航空本部

○雜款

○司令驅逐艦變更

第十九驅逐隊司令ハ七月十五日司令驅逐艦ヲ浦波ヨリ
磯波ニ變更セリ

○救難船波島行動豫定

地名 着 發
横須賀 七月三十日 七月二十七日
佐世保 七月三十日 三十日

上海 八月一日

○特設運送船神丸行動豫定

地名 着 發
吳 八月二日 八月二日
玉 八月二日 十五日
吳 八月二日 十八日
神 八月二日 十九日
大 八月二日 二十一日
横 八月二日 二十四日
須 八月二日 二十八日
賀 八月二日 二十八日

○特設運送船朝光丸行動豫定變更(七月十二日)

地名 着 發
大 七月二十五日 七月二十九日
横 七月三十一日 八月三日
須 七月三十一日 八月三日
佐世保 八月五日 八月五日

○郵便物發送先

特設運送船神丸宛
八月二日迄ニ到達見込ノモノハ 吳
同 八月二日迄ニ 岡山縣日比町玉造船所
同 八月二日迄ニ 吳
同 八月二日迄ニ 横須賀
同 八月二日迄ニ 吳
同 八月二日迄ニ 吳
其ノ後ハ

○書類發送ニ關スル件
救難船波島當分ノ間分離行動ニ付同船宛書類等ハ左記
ニ送付相成度

自 今 記

佐世保郵便局氣付

○残務整理
特設水上機母艦衣笠丸残務整理ハ吳海兵團石田主計特
務少尉之ヲ處理ス

海軍公報(部内限)第二千九百七十一號 昭和十三年七月二十七日

八五九

0550

○艦船所在

▲印ハ「ハカ」ヲ要セズ

○七月二十七日午前十時訓

【横須賀】

對馬、大鯨、夕張▲、鳳翔▲、五十鈴▲、山城、春日、蒼龍、▽八雲、長門、嚴島

▽曉▲、漣▲、狹霧▲、▽響▲、雷、電▲

掃二▲

富士▲、知床▲、室戸

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

▽旗風、春風、▽秋風、羽風、▽夏雲、峯雲、朝雲、山雲、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂六六▲

▽掃一、掃三

【石川島】

太刀風▲

【横濱】

掃四▲、掃五▲、掃六▲

【浦賀】

夕風▲ (霞)▲、(不知火)▲、(掃八)▲

【館山】

澤風▲ 呂五八、▽伊一二四、伊二二三

【大湊】

大泊 若竹▲、早苗▲

【函館】

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、泥、淺間、扶桑▲、最上、千歲、▽白鷹

【吳】

夕顔、吳竹、▽菊、葵、萩、▽浦波▲、磯波▲、敷波▲、綾波▲

【大阪】

古鷹▲ (千代田)▲

【神戸】

▽伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲ (瑞穂)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】

常磐 襟裳▲、早鞠▲

【玉】

(掃七)▲

【因ノ島】

朝風▲、松風▲

【江田内】

平戸▲

【徳山】

隱戸

【宿毛】

▽陸奥、伊勢、▽霧島、金剛、▽那珂、鬼怒、山良、▽迅鯨

【油谷灣】

▽伊一、伊二、伊三、▽伊六、伊四、伊五、伊七、大井、加古、▽名取

【舞鶴】

矢風、▽葦、楡、柿 ▽伊七二、伊七三、▽伊五七、伊五八、伊五六、吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲

【佐世保】

▽初雪▲、白雪▲、吹雪▲ (蔽)▲ 榛名▲、那智▲、北上▲、羽黒▲、磐手▲、赤城▲

055.1

梨▲竹▲榎▲桃▲柳▲檜▲董▲
朝風▲
呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
呂六一▲、呂六二▲、呂六五▲、呂六七▲、
伊六六▲、伊六七▲

【西戸崎】野島
(伊七四)▲、(明石)▲

【古江】峯風

【長崎】佐多▲

(利根)▲、(筑摩)▲

【有明灣】
阿武隈、龍驤、
薄雲、叢雲、東雲、
伊七〇、伊六八、伊六九、伊六三、
伊五九、伊六〇、伊六四、伊六一、
伊六二

鳥海、摩耶、熊野、三隈、鈴谷、神通、
阿武隈、龍驤、
薄雲、叢雲、東雲、
伊七〇、伊六八、伊六九、伊六三、
伊五九、伊六〇、伊六四、伊六一、
伊六二

【ボナヘ】膠州

【作業地】
勢多、壁田、比良、保津、熱海、二見、
足柄、沖島、妙高、多摩、長良、神威、
球磨、能登呂、勝力、八重山、駒橋、

川内、加賀、木曾

栗、梅、蓮、薄、葛、藤、芙蓉、朝顔、
刈萱、菊月、夕月、望月、三月月、蓼、蓬、
菱、島風、灘風、沙風、水無月、長月、
夕立、村雨、春雨、五月雨、白露、有明、
夕暮、時雨、江風、海風、涼風、山風、
疾風、追風、臯月、野風、神風、沼風、
波風、帆風、文月

呂三三、呂三四、伊一二一、伊一二二、
伊六三、伊五二、呂六八

初雁、千鳥、友鶴、真鶴、鶺鴒、雉、
鴻、鳩、雁、鷺、雉

掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八

朝日、洲崎、鶴見、尻矢

【航海中】
呂六四 (二十五日神戸發—佐世保—)

【航海中】
呂六四 (二十五日神戸發—佐世保—)

0552

海軍公報 (部内限) 第二千九百七十二號

海軍大臣官房

昭和十三年七月二十八日(木)

○令達

官房第一八一七號ノ八

昭和十二年官房第四三六八號中第一類及第二類ヲ左ノ
通改正シ昭和十三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十三年七月二十八日

海軍大臣

第一類

海軍省
軍令部

海軍艦政本部 (造船造兵監督官令ニ定ムルモノ
ニシテ内地駐在ノモノ共)

海軍航空本部 (右ニ同ジ)

東京軍法會議

横須賀、吳及佐世保鎮守府

同 海軍人事部

同 海軍經理部

同 海軍建築部 (横須賀海軍建築部大湊出張所共)

同 海軍軍需部 (軍需支部、同支庫及燃料貯藏場共)
同 海軍艦船部

札幌、仙臺、金澤、大阪、高松及鹿兒島地方海軍人事部

横須賀、吳、廣、佐世保及舞鶴海軍工廠

海軍航空廠

海軍火藥廠

海軍燃料廠

海軍技術研究所 (平塚出張所共)

水路部

横須賀、湊、吳、佐世保、別府及嬉野海軍病院

(横須賀、吳及佐世保
海軍病院練習部共)

横須賀、吳及佐世保海軍港務部 (吳海軍港務部徳山
支部共)

同 海兵團

同 海兵團練習部

横須賀、吳、佐世保、舞鶴、大湊、鎮海、馬公及旅順

防備隊

海軍公報 (部内限) 第二千九百七十二號 昭和十三年七月二十八日

八六三

0553

横須賀、霞ヶ浦、館山、木更津、横濱、吳、佐伯、佐世保、大村、鹿屋、舞鶴、大湊及鎮海海軍航空隊並ニ其ノ附屬艦船

(特設聯合航空隊ニ屬スルモノニ在リテハ殘留隊ノミ)

東京、横須賀、父島、吳、佐世保、大湊、稚内、舞鶴、鎮海、旅順、馬公及高雄海軍通信隊
横須賀、吳、佐世保防備戰隊(第二豫備艦以下ヲ除ク)
舞鶴、大湊、鎮海、馬公及旅順要港部

(港務部、軍需部、工作部、經理部、建築部及病院共)

同要港部附屬艦船(隊) (豫備艦船(隊)ヲ除ク)

駐 滿 海 軍 部

臨時海軍防備隊

在 役 艦 船 (今次事變ニ關シ特別任務ヲ有スルモノニシテ戰地外ニ在ル場合)

第 二 類

横須賀、吳及佐世保防備戰隊(第二豫備艦以下ノミ) 在 役 艦 船(第一類ニ屬スルモノヲ除ク)
掃海艇ニシテ學校航空隊等ノ練習用ニ充テラレ現ニ練習ノ用務ニ従事スルモノ

豫備艦船ニシテ軍港要港其ノ他所在地ノ警戒防衛任務

ニ従事スルモノ (第一類及前各項中ニ該當スルモノヲ除ク)

横須賀、吳及佐世保鎮守府軍法會議並ニ舞鶴、鎮海、馬公及旅順要港部軍法會議
海軍各學校及海軍技手養成所

官房第一八一七號ノ九

昭和十三年官房第一八一七號ノ四中但書ヲ削ル
本令ハ昭和十三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十三年七月二十八日

海 軍 大 臣

(昭和十三年官房第一八一七號ノ四ハ地方在勤海軍武官等ニ戰時増俸支給ニ關スル件ナリ)

官房第三八九四號

當分ノ間航空機新搭乗員特別教育實施規程ニ依ル特別教育ヲ實施スル海軍練習航空隊以外ノ海軍航空隊ニ於テ第一搭乗配置ニ在ル者特別教育ノ爲飛行機ノ操縦又ハ機上作業ノ教導ヲ擔任スルトキハ航空加俸支給規則第一表記事第一號ノ規定ニ準ジ航空加俸ヲ増給スルコトヲ得

本令ハ昭和十三年七月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

0554

昭和十三年七月二十八日

海軍大臣

官房機密第四〇八三號

支那事變中特設砲艇隊職員中特務士官以下ハ必要ニ應
ジニ以上ノ鎮守府在籍者ヲ以テ補充スルコトヲ得
前項ニ依リ特務士官以下ヲ補充スル場合共ノ鎮守府別
補充人員數ハ特ニ定ムル場合ノ外當該特設砲艇隊ヲ管
スル鎮守府司令長官之ヲ定メ他鎮守府及關係各部ニ通
知スルモノトス

昭和十三年官房機密第三七六三號ハ之ヲ廢止ス

昭和十三年七月二十八日

海軍大臣

官房第一〇〇四號ノ一〇

昭和十二年度ニ於テ新造ノ特型運貨船ヲ雜役船ニ編入
シ共ノ船種、公稱番號、所屬等ヲ左ノ通定ム
昭和十三年七月二十八日

海軍大臣

船種

公稱番號

所

屬

定數別

製造所

記

事

特型運貨船

第三四六一號

佐世保防備隊
(第三艦隊司令部供用)

臨時所屬

宇品造船所

昭和十二年官房機密第二二七號吳鎮守府
司令長官宛訓令ノモノ

○通牒

官房機密第四〇九一號

昭和十三年七月二十八日

海軍省副官

關係各廳長殿

海軍關係民間工場觀覽ニ關スル件申進

過般海軍工作廳職員ノ名ヲ許稱シ東京所在某民間工場

ニ出入觀覽セントシタル者有之候處此ノ種事故ニ對シ
テハ時局柄特ニ警戒ヲ要スル次第ニ付テハ自今海軍關
係民間工場ノ視察、見學又ハ用務ヲ帶ビ出入セントス
ル場合ハ左記各號ヲ勵行方可然取計相成度

記

一、事前所管海軍監督長(首席監督官)ニ届出デ其ノ
指示ヲ受クルコト
追テ海軍關係民間工場ニ對シテハ工場觀覽内規ヲ作

海軍公報(部内限)第二千九百七十二號

昭和十三年七月二十八日

八六五

0555

製セシメ部内、部外者ヲ問ハズ夫々機密ノ程度ニ應
ジ海軍大臣若ハ所管海軍監督長(首席監督官)ノ許
可ヲ受ケシメツツアリ

二、直接當該工場ニ照會シ觀覽セントスル場合ハ工場
側ニ於テ前號手續ヲ爲スニ要スル餘裕アラシムルコ
ト

三、何等ノ豫報ナク名刺等ニ依リ直接訪社シ工場側ニ
於テ眞偽ノ判別ヲ困難ナラシムルガ如キコトナキコ
ト

經製第三號ノ一二三六

昭和十三年七月一日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

諸管類(鋼管)購買合併契約ノ件通牒

首題ノ件左記ノ通住友金屬工業株式會社、日本鋼管株
式會社、日本ステンレス株式會社ト契約締結致候條之
ニ依リ處理相成度

(別紙ハ所要ノ向ニ配布ス)

○ 辭 令

海軍省事務囑託ヲ解ク(註)海軍省)

江見澤喜三郎

海軍機關中佐

淺山 敏夫(艦 本)

軍艦赤城審議委員ヲ命ス

海軍機關大佐 藤井 芳郎

軍艦赤城審議委員ヲ免ス

海軍機關少佐 松木 正彦(艦 本)

軍艦大鯨審議委員ヲ命ス

海軍機關大佐 島田 藤治郎

軍艦大鯨審議委員ヲ免ス(以上註)海軍艦政本部)

○ 雜 款

○特務艦石廊行動豫定

地名 着

發

吳 山 八月 二 日

八月 一 日

德 山 八月 八 日

八月 四 日

大 湊 八月 十五 日

八月 十 日

オ 山 八月 二十 日

八月 十八 日

德 山 八月 二十七 日

八月 十八 日

吳 山 八月 二十九 日

八月 二十九 日

○特務艦尻矢行動豫定

0556

地名	着	發
横須賀	八月二十日	八月二十九日
才賀	九月四日	九月八日
徳山	九月十六日	九月十八日
横須賀	九月二十一日	

○郵便物發送先
特務艦石廊宛

吳	七月三十一日迄ニ到達見込ノモノハ	吳
徳	八月三日迄ニ同	徳
大	八月九日迄ニ同	大
徳	八月二十八日迄ニ同	徳
吳	其ノ後ハ	吳

山 湊 山

海軍公報(部内限)第二千九百七十二號

昭和十三年七月二十八日

八六七

0557

○艦船所在

▲印ハ「ハカ」
指定ヲ要セズ

○七月二十八日午前十時調

【横須賀】

對馬、大鯨、夕張▲鳳翔▲五十鈴▲山城、春日、蒼龍、▷八雲、嚴島

▽曉▲、漣▲、狹霧▲、▽響▲、雷、電▲、朝雲、澤風

掃二▲

富士▲、知床▲、室戸

(飛龍)▲、(劍崎)▲、(高崎)▲

【長浦】▽旗風、春風、▽秋風、羽風、▽夏雲、山雲、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂六六▲

▽掃一、掃三

【石川島】

太刀風▲

【横濱】

掃四▲、掃五▲、掃六▲

【浦賀】

夕風▲ (霞)▲、(不知火)▲、(掃八)▲

【大湊】

大泊

【函館】

若竹▲、早苗▲

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、淀、淺間、扶桑▲、最上、千歲、▷白鷹、夕顔、吳竹、▽菊、葵、萩、▽磯波▲、浦波▲、敷波▲、綾波▲

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七▲、呂二八、

伊五一、伊五三▲、伊五五▲、伊六五、伊七一

石廊

(千代田)▲

【大阪】

古鷹▲

【神戸】

▽伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲ (瑞穂)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲、(伊一六)▲

【相生】

常磐 襟裳▲、早鞆▲

【玉】

(掃七)▲

【因ノ島】

朝風▲、松風▲

【江田内】

平戸

【徳山】

隱戸

【宿毛】

▽陸奥、伊勢、▷霧島、金剛、▷那珂、鬼怒、由良、▷迅鯨

【舞鶴】

▽伊一、伊二、伊三、▽伊六、伊四、伊五、伊七、吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲

【佐世保】

(蔽)▲ 榛名▲、那智▲、北上▲、羽黒▲、磐手▲、赤城▲

日向

梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、檜▲、蕈▲、▽夕風▲、朝風▲、▽若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、▽大潮▲、滿潮▲、朝潮▲、荒潮▲、彌生▲、如月▲、呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲、呂六〇▲

海軍公報(部内限)第二千九百七十二號

昭和十三年七月二十八日

八六九

0558

呂六一▲、呂六二▲、呂六五▲、呂六四、
呂六七▲、呂六六▲、伊六七▲
敷島▲

(伊七四)▲、(明石)▲

【古江】

峯風

【長崎】 佐多▲

(利根)▲、(筑摩)▲

【有明灣】 呂海、摩耶、熊野、三隈、鈴谷、神通、
阿武隈、龍驤

薄雲、叢雲、東雲、睦月、卯月

伊七〇、伊六八、伊六九、伊六三、
伊五九、伊六〇、伊六四、伊六一、
伊六二

攝津、間宮

【ボナベ】 膠州

【作業地】 天龍、龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、
勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
足柄、沖島、妙高、多摩、長良、神威、
球磨、能登呂、勝力、八重山、駒橋、
川内、加賀、木曾

栗、梅、蓮、薄、高、藤、芙蓉、朝顔、
刈萱、菊月、夕月、望月、三日月、菱、
島風、濊風、汐風、水無月、長月、
夕立、村雨、春雨、五月雨、白露、有明、

夕暮、時雨、江風、海風、涼風、山風、
疾風、追風、阜月、野風、神風、沼風、
波風、帆風

呂三三、呂三四、伊五二

初雁、千鳥、友鶴、真鶴、鶴、隼、鴨、
鴻、鳩、雁、鷺、雉

掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八

朝日、洲崎、鶴見、尻矢

【航海中】

名取、文月、呂六三、呂六八 (二十七日油谷灣
發—佐世保へ)

大井、伊五七、伊五六、伊五八、伊七二、伊七三
(二十七日油谷灣發—吳へ)

葦、楡、柿 (二十七日油谷灣發—鎮海へ)

呂五八、伊二四、伊二三 (二十七日館山發)

鳴戸 (二十七日有明灣發—小松島へ)

野島 (二十七日西戶崎發—吳へ)

長門 (二十七日横須賀發—東京灣へ)

峯雲 (二十七日長浦發—相模灘へ)

加古、矢風、伊二二、伊二三 (二十八日油
谷灣發—吳へ)

契 約 書

海軍省經理局長武井大助(以下甲ト稱ス)ハ別紙記載ノ鋼管類(以下本品ト稱ス)ニ就キ昭和十四年六月未迄ニ註文スルモノノ供給ニ關シ住友金屬工業株式會社、日本鋼管株式會社、日本ステンレス株式會社(以下乙ト稱ス)ト契約スルコト左ノ如シ

第一條 乙ハ別紙記載ノ本品價格表ニ依リ乙ノ工場ノ製品ヲ甲又ハ甲ノ指定スル者(以下註文者ト稱ス)ニ供給スルモノトス但シ本表單價中ニハ納入地迄ノ荷造運賃其他納入ニ要スル一切ノ費用ヲ含ムモノトス前項ニ依ル別紙價格ハ市價ニ著シキ變動ヲ生ジタル場合ハ更改スルコトアルベシ

第二條 乙ハ前條ニ依リ供給スベキ本品ノ製造工事ニ就テハ在〇〇海軍造船監督官(以下監督官ト稱ス)ノ監督検査ヲ受クルモノトス

第三條 本品ハ官ノ指定スル規格ニ合格セルモノナルヲ要ス

第四條 註文者本品ノ供給ヲ受ケントスルトキハ品種毎ニ品名、寸法、規格、數量、納期、納入場所、其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル註文書貳通ヲ作製シ壹通ヲ乙ニ他ノ壹通ヲ監督官ニ送付スルモノトス但シ納期ハ註文書乙ニ到着後約二ヶ月ノ餘裕アル如ク取計フモノトス

第五條 乙ハ前條註文書ヲ受領シタルトキハ之ト同一書式ニ依リ購買番號、單價、代價、其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル明細書ヲ附シタル承諾書ヲ監督官ヲ經テ註文者ニ提出スルモノトス

第六條 本品納入地ニ到着シタルトキハ受領者ハ必要ト認ムル検査ヲ行ヒ之ガ引渡ヲ受クルモノトス但シ秤量ノ結果本數ヨリ生ズル重量ノ増減差支ナシ此ノ場合ニハ本契約ノ單價ニヨリ代價ヲ計算スルモノトス

第七條 本品引渡後壹年以内ニ有害ナリト認ムル瑕疵ヲ發見セラレタルトキハ乙ハ指定期間内ニ之ガ引換又ハ修理ヲ爲スモノトス

第八條 乙ハ本品ノ納入ヲ終リタルトキハ内譯明細書ヲ附シタル代金請求書ヲ註文者ニ提出スルモノトス分割納入ノ場合ニアリテハ前項ニ準ジ請求書ヲ提出スルモノトス

第九條 官ニ納入シタル本品代價ニ對シテハ前條ニ依リ代金請求書受理後十五日以内ニ當該支出官ニ於テ支拂ヲ爲スモノトス

第十條 乙ハ當該支出官ノ承諾ヲ受クルニ非レバ本契約ニ依リテ生ズル官ニ對スル債權ヲ第三者ニ讓渡スルコトヲ得ザルモノトス

第十一條 乙ハ本契約ニ關シテハ軍事上ノ秘密ヲ嚴守シ又他人ヲシテ嚴守セシムル義務アルモノトス

第十二條 本契約ニ明揭ノ外ハ大正十一年四月海軍省令第十一號海軍契約規程並海軍契約規程施行手續ニ依ルモノトス

右契約ヲ證スル爲メ本書貳通ヲ作り各自記名調印シテ各其ノ壹通ヲ保有スルモノナリ

昭和十三年七月一日

海軍省經理局長 武井大助
住友金屬工業株式會社
日本鋼管株式會社
日本ステンレス株式會社

海軍公報 (部内限) 第二千九百七十三號

海軍大臣官房

昭和十三年七月二十九日(金)

○令 達

官房機密第四一〇五號

昭和十三年七月二十九日
二テ本號廢止

支那事變ノ爲召集セラレタル下士官、兵ニシテ昭和九年三月三十一日以前ニ現役ヲ離レ又ハ歸休ヲ命ゼラレ
ニハ其ノ召集ヲ解カレタルトキ夏衣袴一組
(附着小ベキ臂章共)ヲ給スルコトヲ得

昭和十三年七月二十九日

海軍大臣

官房第三九一四號

昭和十二年官房第四三四八號中左ノ通改正ス

昭和十三年七月二十九日

海軍大臣

記

水素ガスノ次ニ左ノ如ク加フ

高層氣象記録甲、乙

測風計算用紙

(参照)

昭和十二年官房第四三四八號ハ艦船部隊ニ於テ測風紀錄
儀ヲ貸與シタル場合之ニ要スル經營用品消耗品ヲ定額表
定數外トシ告知豫算内供給スルコトヲ得ルノ件ナリ
(昭和十二年八月二十一日公報(部内限))

官房第一五七五號ノ二

昭和十三年官房第一五七五號中左ノ通改正ス

昭和十三年七月二十九日

海軍大臣

記

日照計ノ次ニ左ノ如ク加フ

一、自記蒸發計

(参照)

昭和十三年官房第一五七五號ハ艦船部隊ニ於テ兵器ヲ貸
與シタル場合之ニ要スル各用紙ヲ經營用品定額表定數外
トシ告知豫算内供給スルコトヲ得ルノ件ナリ
(昭和十三年三月三十一日公報(部内限))

○通 牒

海軍公報(部内限) 第二千九百七十三號

昭和十三年七月二十九日

八七一

0561

官房第三八二五號ノ三

昭和十三年七月二十八日

海軍省副官

關係各廳長殿

報國號飛行機要目發表範圍及寫真撮影ニ
關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ當分ノ間左記ニ依ルコトト御了知
相成度

記

一、報國第一六四號(黄海號)

機種 九六式艦上爆撃機

座席 二

全幅 一・四米

全長 九・四米

全高 三・九〇米

二、寫真撮影 禁止

經契第三號ノ一一六〇

昭和十三年七月一日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

諸管類(銅管及黃銅管)購買合併契約

ノ件通牒

首題ノ件左記ノ通住友金屬工業株式會社、湯淺伸銅株式會社、古河電氣工業株式會社、株式會社神戸製鋼所ト契約締結致候條之ニ依リ處理相成度

(別紙ハ所要ノ向ニ配布ス)

○ 辭 令

(各通)

海軍大尉 藤川 謹一

同 江 本 弘

海軍軍醫大尉 横 瀬 國 幸

昭和十三年七月及八月施行ノ海軍兵學校海軍機關學校及海軍經理學校生徒採用試験臨時委員ヲ免ス

同 長 門 莫

昭和十三年七月及八月施行ノ海軍兵學校海軍機關學校及海軍經理學校生徒採用試験臨時委員ヲ命ス

海軍主計少佐 小池 兼五郎

購買名簿調査委員會委員ヲ免ス

同 岩 田 吉 雄

購買名簿調査委員會委員ヲ命ス(以上 海軍省)

購買名簿調査委員會委員ヲ命ス(以上 海軍省)

0562

○ 雜 款

○將旗移揚
吳防備戰隊司令官ハ七月二十四日將旗ヲ白鷹ヨリ矢風ニ移揚セリ

○將旗復歸
佐世保防備戰隊司令官ハ七月二十八日代將旗ヲ名取ヨリ佐世保防備隊ニ復歸セリ

○司令驅逐艦復歸
第二十五驅逐隊司令ハ七月二十七日司令驅逐艦ヲ一時大潮ヨリ朝潮ニ變更、同二十八日大潮ニ復歸セリ

○郵便物發送先
軍艦嚴島宛
自 今 佐世保郵便局氣付

第二十六驅逐隊宛
自 今 鎮海郵便局留置

○正誤 (補)
本月六日令達欄官房機密第三三九二號ノ二中「第三艦隊」ハ「支那方面艦隊」ノ誤

海軍公報(部内限) 第二千九百七十三號 昭和十三年七月二十九日

八七三

0563

○艦船所在

▲印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○七月二十九日午前十時調

【横須賀】

對馬、大鯨、夕張▲、鳳翔▲、五十鈴▲、山城、春日、蒼龍、▽八雲、長門

▽曉▲、漣▲、狹霧▲、▽響▲、雷、電▲、峯雲

掃二▲

富士▲、知床、室戸

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

▽旗風、春風、▽秋風、羽風、▽夏雲、山雲、朝雲、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂六六▲

▽掃一、掃三

【石川島】

太刀風▲

【横濱】

掃四▲、掃五▲、掃六▲

【浦賀】

夕風▲

(霞)▲、(不知火)▲、(掃八)▲

【函館】

澤風▲

大泊

若竹▲

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、淀、淺間、扶桑▲、最上、千歲、白鷹、大井▲

加古

夕顔、吳竹、▽菊、葵、萩、▽磯波▲、浦波▲、敷波▲、綾波▲、矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七▲、呂二八、伊五一、伊五三▲、伊五五▲、伊六五、伊七一、▽伊五七、伊五六、伊五八、伊七二、伊七三、▽伊二二、伊一二三、▽呂三三、呂三四

石廊、野島

(千代田)▲

【大阪】 古鷹▲

【神戸】 伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲(伊一六)▲

【相生】 常磐

襟裳▲、早鞆▲

【玉】 (掃七)▲

朝風▲、松風▲

【因ノ島】 鳴戸

【小松島】 平戸▲

【江田内】 隱戸

【廣】 吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲

【舞鶴】 初雪▲、白雪▲、吹雪▲

(霞)▲

【香住】 帆風

【佐世保】 榛名▲、那智▲、北上▲、羽黒▲、磐手▲、赤城▲

日向、▽名取

梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、▽夕風▲、朝風▲、▽若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲

0564

【大潮】滿潮、朝潮、荒潮、彌生、如月、文月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、

呂六一、呂六二、呂六四、呂六五、

呂六七、呂六三、呂六八、伊六六、

伊六七

救島

(伊七四)、(明石)

峯風

佐多

(利根)、(筑摩)

【鎮海】葦、楡、柿

【ボナベ】膠州

【作業地】出雲、天龍、龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、

勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、

足柄、沖島、妙高、多摩、長良、神威、

球磨、能登呂、勝力、八重山、駒橋、

川内、加賀、木曾、嚴島

栗、梅、蓮、蕙、藤、芙蓉、朝顔、

刈萱、菊月、夕月、望月、三日月、蓼、蓬、

菱、島風、灘風、汐風、水無月、長月、

夕立、村雨、春雨、五月雨、白露、有明、

夕暮、時雨、江風、海風、涼風、山風、

疾風、追風、阜月、野風、神風、沼風、

波風

【航海中】
陸奥、伊勢、霧島、金剛、那珂、鬼怒、山良、
迅鯨、伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五、伊七
(二十八日宿毛發—小松島)
鳥海、摩耶、熊野、三隈、鈴谷、神通、阿武隈、
龍驤、龍、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧、白雲、
薄雲、叢雲、東雲、陸月、卯月、伊七〇、伊六八、
伊六九、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、
伊六一、伊六二、攝津、間宮 (二十八日有明灣發
—小松島)

伊五二 (二十八日油谷灣發—舞鶴)
早苗 (二十九日函館發—大湊)
呂五八、伊二四、伊二三 (二十九日清水發)

0565

契約書

(昭和十三年七月二十九日(部内限)公報別紙)

海軍省經理局長武井大助(以下甲ト稱ス)ハ別紙記載ノ銅管類(以下本品ト稱ス)ニ就キ昭和十四年六月未迄ニ註文スルモノノ供給ニ關シ住友金屬工業株式會社、湯淺伸銅株式會社、古河電氣工業株式會社(以下乙ト稱ス)ト契約スルコト左ノ如シ

第一條 乙ハ別紙記載ノ本品價格表ニ依リ乙ノ工場ノ製品ヲ甲又ハ甲ノ指定スル者(以下註文者ト稱ス)ニ供給スルモノトス但シ本表單價中ニハ納入地迄ノ荷造運賃其他納入ニ要スル一切ノ費用ヲ含ムモノトス前項ニ依ル別紙ノ價格ハ左記ニ依リ改訂ヲ爲スモノトス

(一) 價格改訂期 毎三ヶ月
(二) 價格改訂方法

銅管壹疋中ニハ銅地金壹疋ヲ含有スルモノトシ本價格中ニ含ム銅地金ヲ疋當リ金壹圓參錢五厘トス、日本銅統制組合發表電氣銅相場各改訂期前參ヶ月間壹疋當平均値ト金壹圓參錢五厘トノ差額ヲ銅管壹疋ノ單價ニ加減スルモノトス但シ一疋單價ニ厘位ヲ生ジタル場合ハ之ヲ切捨ツルモノトス

第二條 乙ハ前條ニ依リ供給スベキ本品ノ製造工事ニ就テハ在大阪海軍造船監督官(以下監督官ト稱ス)ノ監督検査ヲ受クルモノトス

第三條 本品ハ官ノ指定スル規格ニ合格セルモノナルヲ要ス

第四條 註文者本品ノ供給ヲ受ケントスルトキハ品種毎ニ品名、寸法、規格、數量、納期、納入場所、其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル註文書貳通ヲ作製シ壹通ヲ乙ニ他ノ壹通ヲ監督官ニ送付スルモノトス但シ納期ハ註文書乙ニ到着後約貳ヶ月ノ餘裕アル如ク取計フモノトス

第五條 乙ハ前條註文書ヲ受領シタルトキハ之ト同一書式ニ依リ購買番號、單價、代價、其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル明細書ヲ附シタル承諾書ヲ監督官ヲ經テ註文者ニ提出スルモノトス

第六條 本品納入地ニ到着シタルトキハ受領者ハ必要ト認ムル検査ヲ行ヒ之ガ引渡ヲ受クルモノトス但シ秤量ノ結果本數ヨリ生ズル重量ノ増減差支ナシ此ノ場合ニハ本契約ノ單價ニヨリ代價ヲ計算スルモノトス

第七條 本品引渡後壹年以内ニ有害ナリト認ムル瑕疵ヲ發見セラレタルトキハ乙ハ指定期間内ニ之ガ引換又ハ修理ヲ爲スモノトス

第八條 乙ハ本品ノ納入ヲ終リタルトキハ内譯明細書ヲ附シタル代金請求書ヲ註文者ニ提出スルモノトス分割納入ノ場合ニアリテハ前項ニ準ジ請求書ヲ提出スルモノトス

第九條 官ニ納入シタル本品代價ニ對シテハ前條ニ依リ代金請求書受理後十五日以内ニ當該支出官ニ於テ支拂ヲ爲スモノトス

第十條 乙ハ當該支出官ノ承諾ヲ受クルニ非レバ本契約ニ依リテ生ズル官ニ對スル債權ヲ第三者ニ讓渡スルコトヲ得ザルモノトス

第十一條 乙ハ本契約ニ關シテハ軍事上ノ祕密ヲ嚴守シ又他人ヲシテ嚴守セシムル義務アルモノトス

第十二條 本契約ニ明掲ノ外ハ大正十一年四月海軍省令第十一號海軍契約規程並海軍契約規程施行手續ニ依ルモノトス

右契約ヲ證スル爲メ本書貳通ヲ作り各自記名調印シテ各其ノ壹通ヲ保有スルモノナリ

昭和十三年七月一日

海軍省經理局長 武井大助
住友金屬工業株式會社
湯淺伸銅株式會社
古河電氣工業株式會社

契 約 書

(昭和十三年七月二十九日(部内限)公報別紙)

海軍省經理局長武井大助(以下甲ト稱ス)ハ別紙記載ノ銅及黃銅管類(以下本品ト稱ス)ニ就キ昭和十四年六月末迄ニ註文スルモノノ供給ニ關シ株式會社神戸製鋼所取締役社長田宮嘉右衛門(以下乙ト稱ス)ト契約スルコト左ノ如シ

第一條 乙ハ別紙記載ノ本品價格表ニ依リ乙ノ工場ノ製品ヲ甲又ハ甲ノ指定スル者(以下註文者ト稱ス)ニ供給スルモノトス但シ本表單價中ニハ納入地迄ノ荷造運賃其ノ他納入ニ要スル一切ノ費用ヲ含ムモノトス前項ニ依ル別紙ノ價格ハ左記ニ依リ改訂ヲ爲スモノトス

(一) 價格改訂期 毎三ヶ月

(二) 價格改訂方法

銅管一庇中ニハ銅地金壹庇ヲ含有シ黃銅管壹庇中ニハ銅〇、七庇亞鉛〇、三庇ヲ含有スルモノトシ本價格中ニ含ム銅地金ヲ庇當リ金壹圓參錢五厘也、亞鉛地金庇當リ金六拾貳錢也トス、電氣銅(日本銅統制組合發表值)相場及亞鉛(配給值)相場各改訂期前三ヶ月、一庇當各平均値ト電氣銅金壹圓參錢五厘及亞鉛金六拾貳錢トノ差額ヲ銅管及黃銅管(銅及亞鉛ハ上記割合ニ依ル)壹庇ノ單價ニ加減スルモノトス但シ壹庇單價ニ厘位ヲ生ジタル場合ハ之レヲ切捨ツルモノトス

第二條 乙ハ前條ニ依リ供給スベキ本品ノ製造工事ニ就テハ在八幡海軍造船監督官(以下監督官ト稱ス)ノ監督検査ヲ受クルモノトス

第三條 本品ハ官ノ指定スル規格ニ合格セルモノナルヲ要ス

第四條 註文者本品ノ供給ヲ受ケントスルトキハ品種毎ニ品名、寸法、規格、數量、納期、納入場所、其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル註文書貳通ヲ作製シ壹通ヲ乙ニ他ノ壹通ヲ監督官ニ送付スルモノトス但シ納期ハ註文書乙ニ到着後約貳ヶ月ノ餘裕アル如ク取計フモノトス

第五條 乙ハ前條註文書ヲ受領シタルトキハ之ト同一書式ニ依リ購買番號、單價、代價、其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル明細書ヲ附シタル承諾書ヲ監督官ヲ經テ註文者ニ提出スルモノトス

第六條 本品納入地ニ到着シタルトキハ受領者ハ必要ト認ムル検査ヲ行ヒ之ガ引渡ヲ受クルモノトス但シ秤量ノ結果本數ヨリ生ズル重量ノ増減差支ナシ此ノ場合ニハ本契約ノ單價ニヨリ代價ヲ計算スルモノトス

第七條 本品引渡後壹年以内ニ有害ナリト認ムル瑕疵ヲ發見セラレタルトキハ乙ハ指定期間内ニ之ガ引換又ハ修理ヲ爲スモノトス

第八條 乙ハ本品ノ納入ヲ終リタルトキハ内譯明細書ヲ附シタル代金請求書ヲ註文者ニ提出スルモノトス分割納入ノ場合ニアリテハ前項ニ準ジ請求書ヲ提出スルモノトス

第九條 官ニ納入シタル本品代價ニ對シテハ前條ニ依リ代金請求書受理後十五日以内ニ當該支出官ニ於テ支拂ヲ爲スモノトス

第十條 乙ハ當該支出官ノ承諾ヲ受クルニ非レバ本契約ニ依リテ生ズル官ニ對スル債權ヲ第三者ニ讓渡スルコトヲ得ザルモノトス

第十一條 乙ハ本契約ニ關シテハ軍事上ノ祕密ヲ嚴守シ又他人ヲシテ嚴守セシムル義務アルモノトス

第十二條 本契約ニ明揭ノ外ハ大正十一年四月海軍省令第十一號海軍契約規程並海軍契約規程施行手續ニ依ルモノトス

右契約ヲ證スル爲メ本書貳通ヲ作り各自記名調印シテ各其ノ壹通ヲ保有スルモノナリ

昭和十三年七月一日

海軍省經理局長 武井大助

神戸市葺合區脇濱町一ノ三一

株式會社神戸製鋼所

取締役社長 田宮嘉右衛門

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第二千九百七十四號

海軍大臣官房

昭和十三年七月三十日(主)

○通牒

官房機密第四一二三號

昭和十三年七月三十日

海軍次官

内令提
要登載

各鎮守府司令長官
各要港部司令官

防備隊方面備砲射撃ニ關スル訓令廢止

ノ件申進

昭和六年官房機密第三一七號ハ之ヲ廢止セラル

(希)

(内令提要卷二、二二七頁参照)

官房第三九三三號

大正十三年官房第一一九一號歐文電報宛名略語申左ノ
通改ム

昭和十三年七月三十日

海軍省副官

一、東京電信局登記ノモノ申未尾ニ

海軍公報 (部内限) 第二千九百七十四號

昭和十三年七月三十日

八七七

Inazuma

Tokyo

東京

海軍省電信課長

ヲ加フ

(昭和九年十二月十五日海軍公報(部内限)附録参照)

○辭令

(各通)

海軍艦政本部造船監督官兼
造兵監督官海軍航空本部造
兵監督官海軍機關特務中尉

石渡 淺吉
阿部 清治

東京監理官ヲ命ス(海軍省)

市村 連吉

海軍軍事普及部事務ヲ囑託ス

但シ報酬月額五拾五圓ヲ給シ部内限判任官待遇ト

ス(海軍大臣官房)

海軍主計兵曹長 上原 重治

上海海軍特別陸戰隊ヨリ南京方面ニ派遣セラレタル
部隊ニ要スル經費支拂ノ爲支那方面艦隊經費分任出

納官吏ヲ命ス

海軍主計大尉 渡邊 力男
右同分任出納官吏ヲ免ス(以上^モ品^出支出官海軍省經理局長)

○ 雜 款

○進水

伊號第十六潜水艦七月二十八日進水セリ

○將旗移揚

第一聯合航空隊司令官ハ七月二十九日將旗ヲ木更津海軍航空隊ニ移揚セリ

○司令驅逐艦變更

第十一驅逐隊司令ハ七月二十九日司令驅逐艦ヲ初雪ヨリ吹雪ニ變更セリ

○郵便物發送先

軍艦常磐宛

八月 二 日迄ニ到達見込ノモノハ 相 生
共ノ後ハ 佐 世 保

○學力試驗問題發送

昭和十三年海人機密第一號ノ一〇〇及海人機密第一號

ノ一四三ニ依ル工業技術者中ノ銓衡學力試驗問題七月二十八日發送済、未着ノ向又ハ別ニ必要ノ向ハ至急御通知相成度

(海軍工機學校)

○試驗問題發送

第三十六期高等科整備術練習生採用試驗問題
右七月二十七日左記ノ通發送済未着ノ向又ハ別ニ必要ノ向ハ至急御通知相成度

記

一、單獨試驗施行豫定ノ各部ニハ直送セリ(艦隊ハ横須賀入港ノ際送付ス)

二、聯合試驗用ノモノハ各海軍人事部長宛送付

三、行動豫定變更ノ爲聯合試驗參加不能ノ向ニ對スル分トシテ各人事部長宛單獨試驗問題若干部送付シアリ

(横須賀海軍航空隊)

○懲罰特免

懲罰特免告達書

0569

海軍公報(部内限) 第二千九百七十四號

昭和十三年七月三十日

八七九

○正誤
七月二十三日海軍公報(部内限) 第二千九百六十八號
通牒中「二六六」ハ「一六六」ノ、「雙方」ハ「雙方」
ノ孰モ誤

0570

○艦船所在

▲印ハハハホ
指定ヲ要セズ

○七月三十日午前十時調

【横須賀】

對馬、大鯨、夕張▲、風翔▲、五十鈴▲、山城、春日、蒼龍、▽八雲、長門
▽曉▲、漣▲、狹霧▲、▽響▲、雷▲、電▲、▽夏雲、朝雲、峯雲

掃二▲

富士▲、知床

(飛龍)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】

▽旗風、春風、▽秋風、羽風、山雲、沖風
呂五四、呂五五、呂五六、呂六六▲
呂五八、▽伊一二四、伊一二三

▽掃一、掃三

【石川島】

太刀風▲

【横濱】

掃四▲、掃五▲、掃六▲

【浦賀】

夕風▲
(霞)▲、(不知火)▲、(掃八)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

早苗

【函館】

若竹▲

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、淀、淺間、扶桑▲、最上、千歲、大井▲、加古、夕顔、吳竹、▽菊、葵、萩、▽磯波▲、浦波▲

敷波▲、綾波▲、▽矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七▲、呂二八、伊五一、伊五三▲、伊五五▲、伊六五、伊七一、▽伊五七、伊五六、伊五八、伊七二、伊七三、▽伊一二一、伊一二二、▽呂三三、呂三四

石廊、隱戸

(千代田)▲

【大阪】

古鷹▲

【神戸】

▽伊五四、呂五七▲、呂五九▲

【相生】

(瑞穂)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲、(伊一六)▲
常磐

【玉】

襟裳▲、早鞆▲
(掃七)▲

【因ノ島】

朝風▲、松風▲

【小松島】

▽陸奥、伊勢、▽霧島、金剛、▽那珂、由良、鬼怒、▽迅鯨、▽鳥海、摩耶、▽熊野、三隈、鈴谷、▽神通、▽阿武隈、▽龍驤

▽隴、曙、湖、▽天霧、朝霧、夕霧、▽自雲、薄雲、叢雲、東雲、▽陸月、卯月

▽伊一、伊二、伊三、▽伊六、伊四、伊五、伊七、伊七〇、伊六八、伊六九、▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六四、伊六一

鳴戸、攝津、間宮

【江田内】

平戸▲

海軍公報(部内限) 第二千九百七十四號

昭和十三年七月三十日

八八一

0571

【舞鶴】吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲

▽吹雪▲、初雪▲、白雪▲

伊五二

(笹)▲

【香住】

帆風

【佐世保】榛名▲、那智▲、北上▲、羽黒▲、磐手▲、赤城▲

日向、名取

梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、檜▲、重▲、夕風▲

朝風▲、若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲

▽大潮▲、満潮▲、朝潮▲、荒潮▲、彌生▲、如月▲

文月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲

呂六一▲、呂六二▲、呂六四▲、呂六五▲

呂六七▲、呂六八▲、伊六六▲

伊六七▲

敷島▲

(伊七四)▲、(明石)▲

【古江】峯風

【長崎】佐多▲

(利根)▲、(筑摩)▲

【鎮海】葦、楡、柿

【ボナペ】膠州

【作業地】▽出雲、▽天龍、龍田、▽安宅、嵯峨、鳥羽、

勢多、堅田、北良、保津、熱海、二見、

▽足柄、沖島、▽妙高、多摩、▽長良、▽神威、

▽球磨、能登呂、勝力、八重山、駒橋、

▽川内、▽加賀、木曾、嚴島、白鷹、

栗、梅、蓮、▽薄、葛、藤、▽芙蓉、朝顔、

刈萱、▽菊月、夕月、望月、三月月、▽蓼、蓬、

菱、▽島風、灘風、汐風、▽水無月、長月、

▽夕立、村雨、春雨、五月雨、▽白露、有明、

夕暮、時雨、▽江風、海風、涼風、山風、

▽疾風、追風、阜月、▽野風、神風、沼風、

波風

▽初雁、千鳥、友鶴、真鶴、▽鶴、隼、鴨、

鴻、▽鳩、雁、鷺、雉

伊六二

▽掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、

掃一八

▽朝日、洲崎、鶴見、尻矢

【航海中】

室戸 (二十九日横須賀發—大阪へ)

野島 (二十九日吳發—佐世保へ)

0572